

日本とドイツの俊英奏者が集結

その名を冠するベートーヴェン生誕250周年に贈る〈スペシャル・プログラム〉



ルートヴィヒ・ チェンバー・プレイヤーズ・ シュトゥットガルト

Ludwig Chamber Players Stuttgart

ベートーヴェン(ウツキ編):エグモント序曲

Beethoven/M.Ucki: Egmont Overture

ヨハネス・マリア・シュタウト:新作 〜ベートーヴェン生誕250周年に寄せて〜 **世界初演**

Johannes Maria Staud: new work (world premiere)

ベートーヴェン(タルクマン編):

ヘンデルのオラトリオ「ユダス・マカベウス」から「見よ、勇者の帰還を」の主題による変奏曲

Beethoven/A.Tarkmann: 12 Variations in G Major on See the conqu'ring hero comes from Handel's Judas Maccabaeus, WoO 45

ベートーヴェン:七重奏曲 変ホ長調 op.20

Beethoven: Septet in E-flat Major, op.20

ヴァイオリン:白井 圭/エミリー・ケルナー
Kei Shirai & Emily Körner, Violin

ヴィオラ:ヤニス・リールバルディス
Janis Lielbards, Viola

チェロ:横坂 源
Gen Yokosaka, Cello

コントラバス:幣 隆太郎
Ryutaro Hei, Contrabass

クラリネット:ディルク・アルトマン
Dirk Altmann, Clarinet

ファゴット:ハンノ・ドネヴェーグ
Hanno Dönnweg, Bassoon

ホルン:ヴォルフガング・ヴィプフラー
Wolfgang Wipfler, Horn

2020 **11/28 (土)** 14:00開演(13:30開場) **トッパンホール**

全席指定:5,000円

●お申込み

トッパンホールチケットセンター 03-5840-2222/ヒラサ・オフィス 03-5727-8830
イープラス eplus.jp

一般発売 9/1[火] 10:00~

●主催・お問合せ

ヒラサ・オフィス 03-5727-8830 www.hirasaooffice06.com

*就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。 *都合により出演者・曲目等が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。



日本とドイツの若手実力派奏者によるアンサンブル、ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ・シュトゥットガルト(LCPS)。室内楽への高い志を胸に2013年に結成。以来、ヨーロッパと日本を中心に意欲的な活動を展開しています。

生誕250周年を迎える2020年は〈ベートーヴェン・イヤー〉。グループ名をベートーヴェンにあやかり名付けたLCPSにとってはまさに特別な年であり、尊敬するベートーヴェンに捧げるスペシャル・プログラムを用意しました。

ベートーヴェンのオーケストラ曲からエグモント序曲を、チェロとピアノのための「ヘンデル」の主題による名変奏曲を、それぞれ室内楽版で。そして、オーストリアで注目を集める作曲家シュタウトには、ベートーヴェンをテーマにした新作を委嘱しました。後半は、結成のきっかけにもなり、この編成ならではの魅力を最大限に発揮できる大曲、七重奏曲をお届けします。

室内楽の匠と味わうベートーヴェン(スペシャル・プログラム)にご期待ください。

ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ・シュトゥットガルト Ludwig Chamber Players Stuttgart

2013年、欧州で活躍する日本人若手演奏家とシュトゥットガルト放送響のメンバーたちが、シュトゥットガルトで奇跡的な出会いを果たし、尊敬する作曲家ベートーヴェンにあやかり「ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ」としてグループが結成された。一興奮を呼び起こす名人芸と、心からの演奏する喜びをモットーに、異なる背景を持った8つの個性が彼ら独自の世界を奏でている。

18~19世紀の室内楽作品を中心に、近・現代音楽にも意欲的に取り組むこのアンサンブルは、定期的に日本ツアーを行っている。2013年東京・春・音楽祭に出演、続く2014年はラ・フォル・ジュルネをはじめ全国6都市、2015年は全国6都市のツアーを展開。2016年、2018年にも全国ツアーを行い好評を得た。

ドイツでは、これまでにシュヴェツィンゲン音楽祭や、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス、ベルリン・コンツェルトハウス、そしてベートーヴェンの生家であるボンのベートーヴェンハウスなどで演奏。

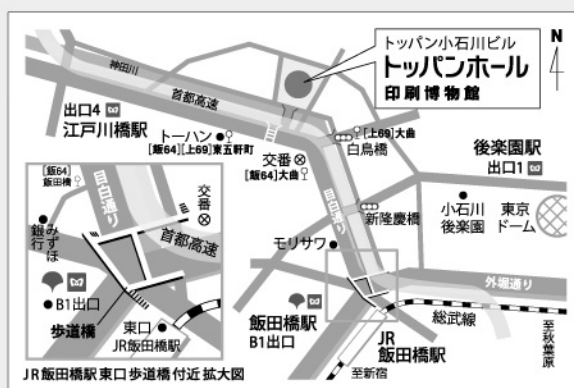
2018年からは、シューベルトの八重奏曲を常に演奏できる様、もう一人のヴァイオリニストとしてエミリー・ケルナーを迎え8名編成とし、レパートリーの拡大をめざしている。名称も「ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ・シュトゥットガルト」と改名し、さらに発展した活動をヨーロッパとアジアで繰り広げている。

ベートーヴェン生誕250年である本年は、この作曲家の名前を冠したアンサンブルにとって特別な年であることは当然であり、2020年初頭にはシュトゥットガルトにおいて、フーゴ・ヴォルフ協会と南西ドイツ放送曲(SWR)の共同プロジェクトとして、A.N.タルクマンがこのアンサンブルのために新たに編曲をした、ベートーヴェンの連作歌曲集「遙かなる恋人に」と、M.ウッキの編曲による歌曲「アデライーデ」を、将来が期待されるトルコ系オーストリア人のテノール歌手、イルカー・アルカユレックとともに初演をし、成功を収めた。このプロジェクトは後日CPOレーベルよりリリースされる。

また、当代の作曲家との交流も彼らにとって大変重要なことと位置づけており、このベートーヴェンの記念年に合わせ、今世界的に注目されているオーストリア

人作曲家のヨハネス・マリア・シュタウト氏に作品を委嘱、2020年秋の日本ツアーでの世界初演が期待されている。

現在モーツァルトのクラリネット五重奏曲と、バセットクラリネット協奏曲を収録した3枚目のCDがTACETレーベルよりリリースされている。2枚目のプロコフィエフを取り上げたCDは国際クラシック音楽大賞(ICMA)にノミネートされた。



交通のご案内

江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分
飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分
後楽園駅 地下鉄丸の内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分
都営バス [上69] [飯64] 「大曲」または「東五軒町」下車徒歩約3分
※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)

トッパンホール 〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200 Fax:03-5840-1515
http://www.toppanhall.com/